

# 第9回協働実践研究会

日時:2015年9月5日(土) 13:00~17:30  
場所:チューラーロンコーン大学 MCSビル401/18号室  
参加費:無料  
懇親会:500バーツ程度、場所未定  
申込み方法:以下のURLからお申込みください。  
<http://kokucheese.com/event/index/324491/>  
申込み締切:2015年8月26日(水)

13:00~13:10

開会の挨拶

13:10~14:10

<<チューラーロンコーン大学公開講演会>>

「協働の学びの場のデザインと教師の役割」 館岡洋子(早稲田大学)

14:10~15:10

<<ポスター発表>>

- ◆ 「基礎日本語ライティング授業におけるピア・レスポンス活動の試み」  
スニーラット・ニャンジャロンスック, ナナコーン由喜恵(タマサート大学)
- ◆ 「プロジェクト型学習における協働から高校生は何を学ぶのかー「タイ国際日本語キャンプ2015」の実践を通してー」  
中尾有岐(国際交流基金バンコク日本文化センター)
- ◆ 「日本語学習者のエントリーシート作成における発達のワークリサーチの試み」 古賀万紀子(早稲田大学大学院生)
- ◆ 「簿記日本語の実践におけるピア・ラーニングの効果」 水崎泰蔵(スラナリー工科大学)
- ◆ 「現実としての「協同・共同」から概念としての「協働」へータイにおける質的な研究調査から見てきた教師間協働の可能性ー」  
中山英治(大阪産業大学)
- ◆ 「読み手を意識して内容を推敲すること」を目指した作文授業の実践報告」  
桃井菜奈恵, 山口 優希子(タマサート大学)
- ◆ 「協働学習の会話の授業における教師の介入のタイミングとその度合いーチューラーロンコーン大学日本語講座2年生の会話の授業について」  
今井己知子(チューラーロンコーン大学)
- ◆ 「留学生の進路選択につながる省察的対話:書くことによる学びを考えるために」 広瀬和佳子(神田外語大学)
- ◆ 「ピア・レスポンスにおける学習者の役割について」 吉陽(筑波大学大学院)
- ◆ 「日本語教師間のロールレタリングの実践ー協働による教師研修デザインを目指してー」  
小浦方理恵(麗澤大学), 鈴木寿子(早稲田大学), 唐澤麻里(文化外国語専門学校)

15:10~15:20

休憩

15:20~17:20

<<ラウンドテーブル 共通テーマ「なぜ協働するのか」>>

15:20~16:05 話題提供  
16:05~17:05 論点整理、グループ・ディスカッション  
17:05~17:20 まとめ(全体共有)

- ◆ 「なぜ協働するのかーピア・リーディング活動は受動的な学習者を自律的な学習者へと変えることができるかー」  
スニーラット・ニャンジャロンスック(タマサート大学)
- ◆ 「なぜ協働するのかータイの大学生の協働に関する意識ー」 松井夏津紀, 池谷清美(チューラーロンコーン大学)
- ◆ 「なぜ協働するのかー実践フィールドへの反省から21世紀日本語人材育成という学習目標に向けてー」  
羅 曉勤(銘傳大学)・荒井智子(銘傳大学)・張 瑜珊(大葉大学)

17:20~17:30

閉会の挨拶

18:00~

懇親会

翌日開催

「ティーチング・ポートフォリオ」作成体験ワークショップ  
ー「対話型教師研修」のための活用法を考えるー

ファシリテーター:金孝卿(大阪大学)・トンプソン美恵子(早稲田大学)  
日時:9月6日(日)13:00-16:00  
場所:シーナカリンウィロート大学人文学部2階222号  
申込み方法:名前と所属を記載の上、メールにてお申込みください。  
トンプソン美恵子 [mieko\\_thompson@aoni.waseda.jp](mailto:mieko_thompson@aoni.waseda.jp)  
申込み締切:2015年8月26日(水)12:00

本研究会は、以下の助成を受けています。

- ・平成25~28年度科学研究費補助金 基盤研究(B)「日本語教育における協働学習の実施・研究のためのアジア連携を可能にするプラットフォーム構築」代表 池田玲子
- ・平成26~29年度科学研究費補助金 基盤研究(B)「学びの関係性構築をめざした『対話型教師研修』の研究」代表 館岡洋子